

定例教育委員会会議録

(平成28年6月8日開催)

岡谷市教育委員会

定例教育委員会

日 時 平成28年6月8日(水)

午後1時30分

場 所 市役所2階 202会議室

署名委員 小野委員 太田委員

【次 第】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 報 告

1. 第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会岡谷市実行委員会設立総会について

(冬季国体推進室)

○ そ の 他

・行事等について(各課)

・その他

○ 視 察

・アイスホッケー競技会岡谷会場 やまびこスケートの森アイスアリーナ

・神明小学校 学童クラブ

【次回開催予定】 7月6日(水) 定例教育委員会 13時30分 保健センター研修室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 橋爪 園美、教育委員 小野 繁男、
教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、

事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部教育担当参事 橋爪 哲也、教育総務課長 帯川 豊博、
生涯学習課長 小坂 英之、スポーツ振興課長 小松 厚、冬季国体推進室長 小口 智行
教育総務課統括主幹 山田 勝由紀、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 保科 圭吾

<会議録>

○開 会

岩本教育長： ご多用の中お集まりいただきありがとうございます。ただいまより定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は小野委員と太田委員にお願いいたします。
最初に私から教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

今日は教育総務課と生涯学習から報告をさせていただきます。
まず、教育総務課からであります。

1 小学校運動会について

去る6月4日土曜日に、上の原小学校を除く、6小学校で運動会が開催されました。運動会当日は、午前中に6校を巡回させていただきましたが、天候にも恵まれ、元気いっぱいの声が、どの学校も校庭に響いていました。

今年は、御柱祭の年ということで、御柱祭を意識したプログラムを用意したり、話題にもなっています「組体操」も、子どもの怪我には十分配慮して取り組むなど、各学校とも工夫された運動会だったのではと思っております。

統合後、初めての運動会となった岡谷田中小学校、神明小学校も笑顔あふれる運動会でありました。

そんな中、危機管理のうえでは大変な出来事もありました。川岸小学校の2年生約60人のうち25人が、感染性胃腸炎で運動会当日欠席となってしまい、当日登校した2年生は保護者の方と運動会を観戦するだけになってしまいました。今日まで、学年閉鎖ということで大事をとっております。運動会に向けて一生懸命練習してきたわけですが、練習してきたことについては参観日等で発表するなど、学校でも十分配慮するという事です。

他の学年の状況ですけれども、4年で6人胃腸炎になっているとのことです。なかなか感染力が強く、心配な部分もありますので、十分留意していきたいと思えます。

秋には、上の原小学校において運動会が開催されますので、委員の皆さんもまた見学していただき、楽しんでいただければと思います。

次に生涯学習課からであります。

1 学童クラブの利用児童の増加について

今年度2ヶ月を経過しましたが、現在でも学童クラブの新規申し込みが見られます。その原因としますと、景気が上向きになりパート求人が増えたことや、ひとり親家庭が増えていることなどが考えられます。

学童クラブについては、昨年度から利用学年を6年生まで拡大するとともに、国にならった設備や運営の基準を設けています。基準では「1クラブの児童数を概ね40人以内、1人当たり面積1.65㎡」としておりますが、特に「神明小第2学童クラブ」では、実数で1日平均45名前後の1・2年生が利用しています。クラブ室も学校の協力をいただくなかで、手狭な教室を「放課後子どもの居場所づくり事業」と共用するなど工夫をしていますが、先般ご覧いただいた岡谷田中小とは環境が大きく異なります。

また、「神明小第1学童クラブ」も、市内の学童クラブでは最も古い昭和41年の建物を使用しています。市内12学童クラブそれぞれに、設備面でも運営面でも課題がありますので、本日会議の後に現状をご覧いただきたいと思えます。

岩本教育長： 私からの報告は以上でございますが、報告について何かご質問等あればお願いします。

小野委員： 川岸小の感染性胃腸炎25名ということですが、食中毒とは違うのでしょうか。

岩本教育長： 感染性胃腸炎というのは、非常に感染力が強く、ちょうど運動会の練習の中で体を寄せ合うようなことがいくつかあって、それで急激に広まり、たまたま運動会の日に火の手があがったような感じになってしまったのではないかと思います。ただ、インフルエンザと違って概ね2日間くらいで症状は治まるということで、最終的に学級閉鎖あるいは学年閉鎖の措置をとるのは校長先生の職責でできることになっております。川岸小学校の校長先生と相談する中で、私は1日くらい良いのではと申し上げましたが、大事をとって2日間学年閉鎖をするということで、今のところ拡大も抑えられているのではないかと思います。

草間職務代理： 2年生だけ25名の子ども達が感染して、他の学年はほとんど休むことがなかったということですが、何か原因はあるのでしょうか。

岩本教育長： 犯人捜しをしてもしょうがないですが、結局そういう兆候がある子どもとの強い接触が2年生の中であつたということだと思います。インフルエンザもそうですが、あるクラスは広がっても、隣のクラスでは広がらないということはありますので、接触度によって違いが出るということだと思います。

それから、感染性胃腸炎については、調理員の方も家族の中で症状がでたりすると大変な事で、子ども達の健康を考える上で、調理員さんが感染することが一番怖い状況ですので、その点については消毒をこまめにするとか、調理員さんの健康状態を常にチェックして、自分自身でも体調管理をしてもらうしかないですが、そういった事をきちんとやりながら、安心・安全な給食を心掛けたいと思います。

他に何かご質問等がありますか。無いようですので、本日の報告事項に入ります。

○報 告

1. 第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会岡谷市実行委員会設立総会について (冬季国体推進室)

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

<事務局より第72回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会岡谷市実行委員会設立総会について報告。>

岩本教育長： 何かご質問等ございますか。

太田委員： 先日、総会に出ささせていただいて、思っていた以上に大事だなと感じさせていただき、本当に皆さんお疲れのところだと思いますが、心積もりとして我々教育委員は実行委員の委員ということですが、想定としてどのようなことをすればいいのでしょうか。

事務局： 岡谷市又は教育委員会を挙げての国体となりますので、必要とあらばお知恵をお借りしたり、ご意見をいただけたらと思っております。常任委員会あるいは岡谷市の実施本部というものを11月に立上げますが、こちらは岡谷市の職員がメインになって立ち上げてまいります。こういったところでご意見等があれば出していただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局： 付け加えますと、冬季のアイスホッケーの大会というのは、岡谷市では経験がないものですから、やまびこアイスアリーナを使うのも、軽井沢のアリーナが1つ閉じてしまって、県内ではやまびこアイスアリーナしかないという状況で要請がきました。軽井沢はとても経験が豊富で国体を含め色々な大会を実施しておりますので、軽井沢に習いながら、後をついていくというかたちで実行委員会も設立させていただいたという状況です。実際には議案の中にも会則がございましたが、常任委員会の役割として企画運営、広報、競技会場での運営、輸送、交通、宿泊等すべてそこでやるようになっておりますので、教育委員さんは委員という立場でありますので、常任委員会の中で決められたことをご報告しつつ、ご意見いただかなければいけないこととか、学校との連携であるとか、そのようなことをご意見を頂戴できればと考えております。具体的にはこれとってご説明しづらい部分でございますのでよろしく願いいたします。

岩本教育長： きっと大いにお知恵をお借りすることがあると思いますので、また教えてください。今日はこの後、実際にやまびこアイスアリーナを見ていただくので、その中からまたアイデアが生まれるかもしれませんのでよろしくお願いいたします。

事務局からの報告は他にございますか。無いようですので、次に橋爪委員さんをお願いいたします。

2. 岡谷田中小学校親子ふれ合い会と今後の予定について（橋爪委員）

橋爪委員： 先日の行われた岡谷田中小学校での取組みについてご報告させていただきます。

岡谷田中小学校1学年を対象に5月29日（日）に実施をし、無事に終わることが出来ました。ファシリテーターは中島るみ子先生と太田教育委員さんにやっていただき、各クラスの担任の先生とのタイアップで実施させていただきました。託児は思いのほか人数が大勢になり少し慌てましたが、合計9名の申込みがありまして、当日は1名の欠席がありましたので合計8名のお子さんを預かりました。託児のサポーターの手配については、新規登録の地元の方2名と、加えて社協で従来登録されている方2名で、経験者と新規の方という非常に良い組み合わせで実施することが出来ました。この辺については、小坂課長さんや帯川課長さんにはお骨折をいただきながらなんとか無事に乗り切れたと思っています。ありがとうございました。

成果の方はこれからまとめをしたいと思っていますが、これまでのところ大変成果があったという感触を得ていまして、たとえば、始まる前に同じクラスのお母さんかどうか分からない感じで、おそるおそる話し掛けていたお母さんも仕舞いにはとても打ち解けていて、笑顔がいっぱい会話する姿が見られて、それだけでも成果があったかなと感じました。その後、学級委員さんと担任の先生で体育館に移動して、さらなる活動があったのですが、その活動の内容も前半の活動とマッチする内容でさらに親睦が深まったように感じられました。とても成果がある有意義な活動だったと思います。教育委員の皆様方にもご理解をいただき、お知恵を拝借して色々ご協力いただきましてありがとうございました。後ほど関わっていただいた皆さんにも一言いただけたらと思います。

次に今後控えていることについてもご報告したいと思います。小井川小学校の1学年で7月4日（月）の午後に昨年実施した参観日の後の学級懇談会で保護者の交流の取組みをしたいとの要望をいただいております。保護者が交流を持っている裏の時間帯で、高木委員さんの手配やご協力があったのですが、読み聞かせの会「お話大好きポポーの木」の花岡さんと高橋さん、2人とも小井川小学校の学区の方で、日頃から学校に関わってくださっている方の手で、1学年の子ども達に読み聞かせをしていただくという計画が進んでいます。こちらの経費の負担に関しては、PTA会費の補助費をあてられるというお話が確実となっております。順調に進んでおります。これから参加者や託児の希望をとってファシリテーターを決めて進めていきたいと考えております。

それから神明小学校の1学年で岡谷田中小学校と同様の取組みをしたいとの要望をいただいております。7月23日（土）の9時から10時までの1時間と、その後に学級委員さんと担任の先生とで各クラスの活動が続くというような日程になっておりますけれども、前半の1時間をファシリテーターとしてサポートしていくというような取組みになります。託児の手配も近いうちにお便りを出して6月いっぱい人数把握というような予定で進んでおります。おかげ様で順調に取組みが広がっている状況でありますのでご報告させていただきました。

では、感想などを教えていただければと思います。

太田委員： 小学校1年生の子どもが一緒だったので、どうなるかと思ったのですが、最後は自分が楽しめない皆さん楽しんでいただけないかなと思ひまして、割り切って覚悟して務めさせていただきました。結果としては、「保護者の皆さんがお子さんと保護者同士で名前を覚えて出来るだけ早く仲良くなりましょう」という目的に関しては一定の役割が果たせたのではないかと思います。やっている中で皆さんがとても協力的で、担任の先生も上手くバックアッ

プをしてくれたので、非常にスムーズでしたし、中島先生のプログラムもやってみるとすごく上手く出来ていて関心させられました。そんな中でどんどん垣根が取れていくのが感じられましたし、タイミングとしてもこのぐらいの次期にこういったかたちで出来たのは、まず親しくなる土台を作るという意味では間違いなく効果はあったのかなと思います。ただ、これから先どうなっていくのか分かりませんので、二人の担任の先生にも今後のために役立ったのかどうかなど直接感想もお聞きしたいなと思います。きっかけとして非常に意味のある取組みではないかと、やりながら強く感じさせていただきましたので、これからも協力できる部分は、協力させていただきたいと思っております。

高木委員： 当日は欠席で申し訳ありませんでした。とても楽しく素晴らしく運営が出来たとお聞きしております。そこにいくまでの準備段階でも学校の先生方はとても協力的で、担任の先生方も交流プログラムについてすごくご理解をくださっていて、当日も絶妙なタイミングで補助をしてくださったとお聞きしておりますので、学校の先生方と共に作っていくことがこれからも大事だなと感じました。託児に関しましても社協のファミリーサポートの方に大変ご尽力いただきまして、スムーズに出来たことに大変感謝しております。これからも社協のファミリーサポートを使わせていただいて、そのところを上手く運営していければいいなと思っております。

帯川課長： 当日見させていただきありがとうございました。初めてでしたが、そんな雰囲気も味わえて良かったと思っております。保護者の方がだんだん変わっていくのが良く分かりまして、保育園から関わっていない全く知らない方と関わるタイミングとしては良い学級懇談会だったのではないかなと感じました。最後には、親御さん同士も打ち解けて顔つきが変わった様子が良く分かったので、本当に良いかたちの学級懇談会だったのではないかと思います。今回は文部科学省のモデルケースということもあって、岡谷田中小学校と神明小学校については、託児の経費の部分を公費で負担しましたが、今後はやり方についても学校で考えていかなくてはいけない部分もあるのかと思いましたので、また課題等研究しながら今後に生かしていかなければならないと感じました。

小坂課長： 成果はまた後ほどまとめられるというお話ですけども、終わってから会場の出口にいましたが、帰られる方皆さん、お父様方も含めてニコニコしながら帰られていきました。とても大きな成果があったのではないのかなと感じました。託児については、やはり安心して子どもを預けられる場所があるというのが、段々周知されてきたのではないかなと思います。昨年の小井川小、湊小、今回の岡谷田中小と回を重ねるごとにイメージが浸透してきたと思いますし、おそらくこれからも増えていくのではないかなと思います。そういったものが、交流会に保護者の方全員が参加できるように繋がっていけばいいなと思います。

橋爪委員： 補足で皆さんのお話をお聞きしながら思いついたことをお話させていただきます。ファシリテーションの中身が非常に素晴らしものだったということをお父様委員さんが触れてくださったのですが、本当に終始スキンシップを狙ったもので、自然な感じで子どもさんたちが親御さんたちを独り占めして、ずっと一緒にいられて、ずっと触れていられたという良さが狙いどおりはっきりと盛り込まれていて、その狙いどおりに結果がでたと思います。このプログラムは神明小でも生きてくるのではないかなと思っております。

それから、小井川小では、読み聞かせでポポーの木の皆さんが来てくださることになっておりますが、こんな風にしてすごく大きな捕らえ方をしますと、これまで学校と各団体と個々に繋がっていた部分が、今度のこの活動を通して横に繋がれてくるという動きの発端になるのかなと感じておまして、託児の関係もそうですけれども、是非そういった視点で横の広がりを意識してコミュニティースクールに繋がるような活動、仕組みを作っていければいいかなと考えております。そして、学童クラブの施設をお借りして託児を実施することが出来たのも大きな進展だったのかなと思おまして、学校と地域が結びつくのにならぬ場所があるということは非常に必要なことですし、大変なことだなと感じました。そのような視点も持ちながら引き続き頑張っていきたいと思おしますので、また皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

草間職務代理： 昨年、小井川小の保護者の出席率が高かったと思いますが、今回の出席率はどうですか。

橋爪委員： 31組中1の1が24組で、1の2が29組という結果でした。欠席がそれぞれ7組と2組あったという状況です。

小野委員： 数年前からずっと言っていたことが本当にかたちになっているなと思ひまして、今回は実際に見ていないですが、橋爪委員の願いがまさにかたちになってきているなと思ひました。

岩本教育長： このファシリテーターというのは、やり出すと非常に楽しいですね。私が子ども会のリーダーをやっているときに小学生や中学生を相手にやっていましたがとっても楽しかったです。それに似た感覚がファシリテーターにはあるのではないかなと思ひます。行く行くは、リーダーズクラブの子ども達をこういうところで大人と一緒にやるということも一つありではないかなと思ひます。十分リーダーズクラブの子どもなら出来る、そういった素質も持っている子ども達です。本当に色々な世代の人達が繋がっていくというのは、まさに私達が目指していることかなと思ひています。それでこの活動の素敵なネーミングを付けてもらいたい。今は標題もないので、これがどういう活動かということがネーミングで分かるように、また考えていきましょう。

それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

<次回開催日の調整>

岩本教育長： 本日本定していた内容は以上となります。

これをもちまして、6月の定例教育委員会を終了とします。

終了14時20分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成28年7月6日

教 育 長 岩本博行

署 名 委 員 小野 繁男

署 名 委 員 太田 博次

調 製 職 員 吉澤 洋人